

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 28 年 5 月 31 日

計画の名称	富田林市における安全・安心・潤いのある住宅環境等の整備				
計画の期間	平成23年度 ～ 平成27年度 (5年間)	交付対象	富田林市		
計画の目標					

昭和40年代に建てられた市営住宅については、老朽化が著しく、狭小でバリアフリー対策もなされていない等の問題により、道路及び上下水道等のライフラインを含めた住宅の再生を行う。また、耐震性の不十分な建築物についても、合わせて再生を行うとともに、既存ストックの効率的かつ円滑な活用を行う。これらの対策により、安全安心で潤いのある居住環境の整備を行う。また、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている富田林寺内町を含む街なみ環境整備促進地区における町家の修理・修景の助成を行うことにより、歴史的町割と歴史的連続性をもつ町家・街並みを保存することを目標とする。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・老朽化により、今後建替えが必要となる市営住宅と建替えが完了した市営住宅の戸数比率
- ・耐震性が確保できた住宅の戸数比率
- ・富田林寺内町（富田林市富田林重要伝統的建造物群保存地区）への来街者数

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 中間目標値 最終目標値

(H22当初) (H24末) (H26末)

備考

① 建替えの進捗状況により建替えの完了住宅戸数比率を算出する (建替え完了住宅戸数比率) = (建替え完了住宅戸数) / (建替えを必要とする住宅戸数)	0%	0%	26.6%	
② 当面建替えを行なう計画のない住宅のうち耐震改修の進捗状況により耐震性が確保できた住宅戸数比率を算出する (耐震性が確保できた住宅比率) = (耐震性が確保できた住宅戸数) / (当面建替えを必要としない住宅戸数)	92.1%	100.0%	100.0%	
③ 富田林寺内町（富田林市富田林重要伝統的建造物群保存地区）への来街者数により算出する (じないまち交流館の年間入館者数)	26,000人	27,000人	29,000人	

全体事業費	合計 (A+B+C)	1,546百万円	A	1,500百万円	B	0百万円	C	46百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	3.0%
-------	---------------	----------	---	----------	---	------	---	-------	---------------------------	------

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

富田林市（住宅政策課・文化財課）において評価を実施

事後評価の実施時期

平成28年5月

公表の方法

富田林市のウェブサイトにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H23	H24	H25	H26	H27		
1-A1-1	住宅	一般	富田林市	直接	市	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等整備事業）	市営住宅の建替え設計・建替え整備等	富田林市						1,134	
1-A1-2	住宅	一般	富田林市	直接	市	地域住宅計画に基づく事業（住宅地区改良事業等）	市営住宅の建替え設計・建替え整備、耐震改修、空き家再生等	富田林市						341	
1-A1-2	住宅	一般	富田林市	直/間	市・個人	街なみ環境整備事業（富田林寺内町地区）	修景施設整備等（富田林寺内町地区13.3ha）	富田林市						24	
1-A1-3	住宅	一般	富田林市	直接	市	住宅・建築物安全ストック形成事業	市営住宅建設予定地にある建築物のアスベスト除去工事	富田林市						1	
小計											1,500				

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
合計																

番号 一体的に実施することにより期待される効果

備考

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	住宅	一般	富田林市	直接	市	公営整備関連	若松地区再整備事業	再整備区域の各種協議書作成業務	富田林市						3	
1-C-2	住宅	一般	富田林市	直接	市	公営整備関連	移転促進	若松地区第1期住宅移転費	富田林市						2	
1-C-3	住宅	一般	富田林市	直接	市	公営整備関連	市営住宅建設予定地整備事業	市営住宅建設予定地にある建築物の除却工事	富田林市						28	
1-C-4	住宅	一般	富田林市	直接	市	更新住宅整備関連	改良店舗建替事業	改良店舗の建替工事監理業務	富田林市						1	
1-C-5	住宅	一般	富田林市	直接	市	公営整備関連	改良住宅・改良店舗除却事業	改良住宅・改良店舗の除却設計	富田林市						1	
1-C-6	住宅	一般	富田林市	直接	市	改良ストック関連	第10住宅耐震・大規模改修事業	改良住宅・改良店舗の除却設計	富田林市						3	
1-C-7	住宅	一般	富田林市	直接	市	改良小規模関連	本町古民家活用事業	本町古民家活用工事監理業務	富田林市						3	
1-C-8	住宅	一般	富田林市	直接	市	公営整備関連	(仮) 第3住宅駐車場整備事業	駐車場工事監理、工事	富田林市						5	
合計													46			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	市営住宅建替えを含めた当該地区の再整備を計画的に行うことができる	
1-C-2	市営住宅建替えに伴う入居者の移転を行う	
1-C-3	市営住宅の建替えに必要な用地を確保する	
1-C-4	改良店舗建替えに当たり、有資格者による適正な工事監理を行う。	
1-C-5	改良住宅建替えに当たり、既存改良住宅・改良店舗の除却設計を行う。	
1-C-6	第10住宅の耐震・大規模改修を行うための設計及び、有資格者による適正な工事監理を行う。	
1-C-7	古民家の改修工事に当たり、有資格者による適正な工事監理を行う	
1-C-8	市営住宅の建替えに必要な駐車場の工事監理及び整備を行う	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の建替えが完了したことにより、入居者の居住環境が改善された。 市営住宅の耐震改修をしたことにより、入居者の安全で安心ができる居住環境が確保された。 街なみ環境整備促進地区における町家の修理・修景の助成を行ったことにより、歴史的町割と歴史的連続性をもつ町家・街並みが保存できた。 					
II 定量的指標の達成状況	指標①(建替え完了住宅戸数比率)	最終目標値	26.6%	目標値と実績値に差が出た要因	目標設定時より建替えを必要とする住宅戸数が減少したことに対して、建替完了戸数が増加したため。		
		最終実績値	46.5%				
	指標②(耐震性が確保できた住宅比率)	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因			
		最終実績値	100.0%				
	指標③(じないまち交流館の年間入館者数)	最終目標値	29,000人	目標値と実績値に差が出た要因		修理・修景事業の実施により、歴史的な景観を形成することができ、それが住民の保存への意識の向上、町の活性化やイベント等による情報発信、空き家の利活用に繋がり、街歩きの来街者が増加した。	
		最終実績値	34,000人				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)							

3. 特記事項(今後の方針等)

平成28年度からは「第2期富田林市における安全・安心・潤いのある住宅環境等の整備」を作成し、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されている富田林寺内町を含む街なみ環境整備促進区域における町家の修理・修景の助成を行うことにより、歴史的町割と歴史的連続性をもつ町家・町並みの保存を行い、当該地区への来街者数を増加させることにより、引き続き、地域コミュニティーの活性化を図る。